



# 遠大勵志

## PTA総会終わる

4月25日(木)14:10からPTA総会が行われました。総会の時には雨が上がっていましたが、朝からの雨で足下の悪い中PTA総会に参加頂きありがとうございました。1学年は70名、2学年は67名、3学年は63名の保護者の皆さまの参加がありました。本当にお忙しい中、ご参加頂きましてありがとうございました。

昨年度の10個の会計決算の承認、今年度の事業計画、今年度の10個の会計予算の承認、今年度PTA役員の改選の承認を頂きました。新しく役員をしていただくことになった方も含め、役員の皆さまを中心としたPTAの皆さまからたくさんのご支援とご協力をいただきながら、今年度も生徒たちに向き合っていきたいと思っています。どうぞよろしくお祈りします。総会終了後は、各学年ごとに分かれて、学年から保護者の皆さまとたくさんの情報を共有しました。

今年度1年間どうぞよろしくお祈り申し上げます。

## 第1回学校へ行こう週間

4月22日(月)~26日(金)の5日間を第1回目の「学校へ行こう週間」として実施しました。記録簿によれば、来校者数は延べ53名。(PTA総会当日の前にたくさんの保護者の方々に参観頂きましたので、この人数以上の皆さまに来校頂いたと思います。)本校へお忙しい中足を運んでいただきましてありがとうございました。感謝申し上げます。

第2回目の学校へ行こう週間は、10月28日(月)から5日間を予定しておりますので、是非とも学校にお越し頂き、生徒達の生活の様子を見て頂ければ幸いです。

## 7人制ラグビー高校県予選 優勝！！(4年ぶり3回目)

7人制ラグビーのアシックスカップ第6回全国高校大会県予選が4月27日(土)に北上総合運動公園で行われ、決勝戦

で盛岡工業を24-7で破り、4年ぶり3度目の優勝を果たした。県予選は3地区の予選を勝ち抜いた8校がトーナメントで戦い、し合いは7分ハーフで実施。優勝した本校は7月に長野県で開催される全国大会に出場することとなりました。

1回戦 黒沢尻北31-0不来方

準決勝 黒沢尻北31-7宮古

決勝 黒沢尻北24-7盛岡工業

(前半17-7、後半7-0)

## 【岩手日報記事(4/28付)】

黒沢尻北が堅守で頂点に立った。相手の大型選手にひるまず、常に2人がかりで粘り強く守った。攻めでは7人制のスペースを生かした一気の展開力で序盤から得点を重ね、久々の全国切符をつかんだ。前半開始直後から持ち味のパスワークで広大なスペースを生かした攻撃を見せた。ミスが出やすくキックを多用しがちな降雨の状況でも「つなぐ攻撃が7人制の面白さ」(小田島康人監督)。敵陣ゴール前のスクラムから右サイドに展開し、バックス福山遙歩(2年)が先制トライを挙げた。サイドを意識させると、バックス山田大晟主将(3年)が中央を突破。前半の計3トライで試合を優位に進めた。

攻守にわたりスクラムの強さが光った。FW3人のうち、15人制での本職は細川翔永(3年)のみ。駒井魁土、渡辺星輝の2年生バックスがこの日に向けてスクラム強化に取り組んだ。後半はスクラムからボールを奪い、トライにつなげた。

山田主将は、「1年生も出場したので、声を掛け合いながら守備で相手にプレッシャーをかけた。全国では挑戦者の気持ちで上位を目指す」と意気込んだ。





7番佐藤の四球、8番杉沢のレフト前ヒットで1アウト満塁。9番小原のレフト前ヒットで1点あげ、なお満塁。1番古川の右中間への3塁打で走者一掃。2番佐々木のスクイズで合計5点をあげた。6回も5番澤瀬の2塁打を足がかりに2点あげ、勝負を決めた。

ピッチャー畠田は約111球の投球。被安打4、三振7の活躍。本校は安打5、2塁打5、3塁打1の合計11安打の猛攻でした。

予定では、5月3日(金)に同じく地区代表となった専大北上高校と対戦することになっています。是非とも勝って第1第2代表決定戦へコマを進めてほしいものです。

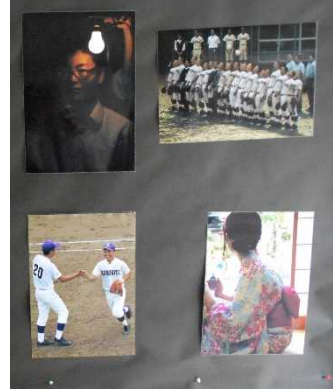
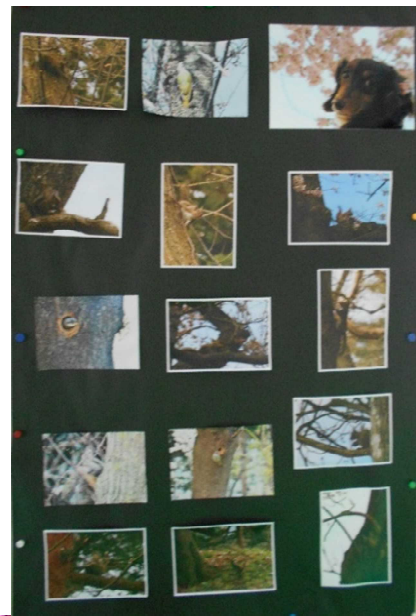


## 写真部作品校内展示



学校へ行こう週間にあわせて、写真部が1階の空いているスペースを活用し、今まで撮りためた作品を模造紙に貼り展示していました。

来校した多くの保護者のみなさんも作品の前で、足を止めて見ておりました。今年度も積極的な活動をしてくれるものと思っております。



## 第66回春季東北地区高校野

### 球県大会地区

### 黒沢尻北：県大会へ出場

4月29日(月)江釣子球場において、水沢商業と対戦し、本校は9-1(7回コールド)で勝利し、県大会出場を決めた。

黒沢尻北0011520・・・9

水沢商業1000000・・・1

1回裏水沢商業は、3本のヒットで1点を奪う。本校は1回1アウト2塁のチャンス、2回2アウト満塁のチャンスを得点に結びつけることができず苦しい立ち上がり。3回2番佐々木が2塁打で出塁。3番中野が送り、4番菊池が左中間の2塁打で待望の1点を挙げた。4回は、9番小原の四球を足がかりに3番中野の1、2塁間のヒットで1点追加。5回は、6番畠田のヒット、